



薬剤部 ～情報～

平成30年7月



6月の採用薬品（常備薬品）

スージャヌ配合錠

アステラス製薬

選択的DPP-4阻害剤/選択的SGLT2阻害剤配合剤

（ジャヌビア錠50mg 1錠＋スーグラ錠50mg 1錠）

【効】2型糖尿病

【用】通常、成人には1日1回1錠（シタグリプチン/イプラグリフロジンとして50mg/50mg）を朝食前又は朝食後に経口投与する。

【副】低血糖、肝機能障害、黄疸、頻尿、便秘、口渇等



6月の区分変更薬品

ノボラピッド50ミックス注フレックスペン 常備薬品 → 注文薬品

6月の削除薬品：なし

6月の採用薬品（院外処方専用薬）



ベピオゲル2.5%

マルホ 尋常性ざ瘡治療剤

【効】尋常性ざ瘡

【用】1日1回、洗顔後、患部に適量を塗布する。

【副】皮膚剥脱（鱗屑・落屑）、刺激感、紅斑、乾燥等



アクアチムクリーム1%

大塚製薬 新キノロン系外用抗菌剤

【効】＜適応菌種＞：本剤に感性のブドウ球菌属、アクネ菌

＜適応症＞：表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、

ざ瘡（化膿性炎症を伴うもの）

【用】本品の適量を1日2回、患部に塗布する。なお、ざ瘡に対しては洗顔後、患部に塗布する。

【副】そう痒感、刺激感、発赤、潮紅等



ストロメクトール錠3mg

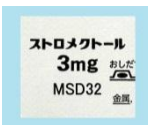
MSD 駆虫剤

【効】1. 腸管糞線虫症 2. 疥癬

【用】1. 腸管糞線虫症：通常、イベルメクチンとして体重1kg当たり約200μgを2週間間隔で2回経口投与する。
2. 疥癬：通常、イベルメクチンとして体重1kg当たり約200μgを1回経口投与する。

本剤は水のみで服用すること。空腹時に投与することが望ましい。

【副】悪心、嘔吐、肝機能障害、そう痒、発疹、BUN上昇等



プロペシア錠0.2mg（薬価未収載：自費薬剤）

MSD 男性型脱毛症用薬

【効】男性における男性型脱毛症の進行遅延

【用】男性成人には、通常、フィナステリドとして0.2mgを1日1回経口投与する。なお、必要に応じて適宜増量できるが、1日1mgを上限とする。

【副】リビドー減退、勃起機能不全、肝機能障害等



ザイティガ錠250mg

ヤンセンファーマ 前立腺癌治療剤

【効】去勢抵抗性前立腺癌

内分泌療法未治療のハイリスクの予後因子を有する前立腺癌

【用】プレドニゾロンとの併用において、通常、成人にはアピラテロン酢酸エステルとして1日1回1,000mgを空腹時に経口投与する。

【禁】重度の肝機能障害患者（Child-PughスコアC）

【副】AST増加、ALT増加、低カリウム血症、高脂血症、高血圧、糖尿病等



ツムラ辛夷清肺湯エキス顆粒

ツムラ 漢方製剤

【効】鼻づまり、慢性鼻炎、蓄膿症

【用】通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【副】胃部不快感、軟便、間質性肺炎、肝機能障害等

